



別記様式(第4条関係)

戸田市議会研修・視察報告書(会派名： 令和会 )

2020年10月13日

手塚静枝議長

報告者氏名山崎雅俊

実施日	2020年10月7日(水)～ 年 月 日( ) 泊 1日	
参加者	1山崎雅俊 6 2 7 3 8 4 9 5 10	合計 1 人
視察先・目的	視察先 1群馬県渋川市 2 3 4 5 6	目的 戸田市における給食無料化の可能性調査
宿泊場所	1 2 3	
費用	宿泊費(泊) 円	食事代(日) 円
	交通費 3,760円	研修費 円
	その他 円	合計 3,760円
備考		

戸田市議会研修・視察報告書（会派名：令和会）

概 要

No. 1

戸田市における小中学校給食無料化の可能性について先進地である群馬県渋川市を視察した。

渋川市は平成26年に日本創生会議が発表した消滅可能性都市に該当し、群馬県内でも最も人口減少率の高い状況となっている。

そのため渋川市では平成27年12月にまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、消滅可能都市からの脱却に向けた取り組みを推進してきた。

この施策展開を実現するための事業の1つに「学校給食の公費負担」を位置付けている。子育て世代の経済的負担の軽減を図り移住・定住を促進するため学校給食を公費で負担することとした。

また、食の重要性を認識することにより、食育の推進にも寄与すると考えている。事業概要としては平成28年度学校給食の約30%を市が負担、第3子以降の児童生徒については全額を市が負担、令和29年度以降学校給食の全額を市が負担するというものである。

公費での負担額は平成27年度115万円、であったが、平成29年度以降の負担額はおよそ3億円弱となっている。

本年度末で事業実施後5年が経過するので、事業効果を確認するための市民アンケートの実施を検討しているとのことである。

実施しての課題はアレルギー等で給食を食べることのできない児童生徒への公平性に欠けることや、受益者負担の考え方からすると学校給食の公費負担は適正ではないとの考え方も有ること、学校給食を無料で食べられることが当然と思われるような制度となっている等があげられるとのことであった。

次代を担う大切な子どもの望ましい成長を考えたとき、学校給食は心身ともに健康な人材育成を図る上で極めて重要な役割を担っていることから、国が制度化し無償化することが望ましいと考えているとのことであった。

コロナ禍で税収の落ち込みが予想される現状において、戸田市における学校給食の全額公費負担は緊急性の高い事業とは思われないとの結論に至った。